

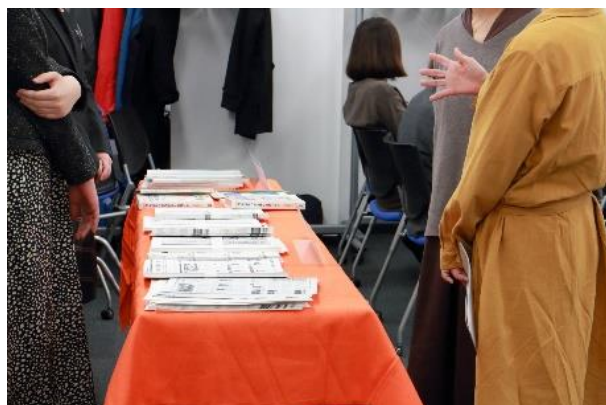
緩和ケア普及啓発に関する活動報告書

提出日 2020 年 3 月 31 日

緩和ケア普及啓発活動についての報告

実施団体	
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発事業	
企画名	
令和元年度厚生労働省委託事業 緩和ケア普及啓発活動 市民公開講座「緩和ケアを受けながら～治療も、仕事も、生活も～」	
事前告知、募集の方法について（ポスター、チラシの配布など）	
本学会および後援団体によるホームページ・メーリングリストでの告知、 開催地近郊の施設へのチラシ配付、北海道のがん診療連携拠点病院での配布 本学会ホームページでの告知記事掲載と FAX による参加募集	
当日の実施内容について	
日時（期間）	2020 年 2 月 16 日（日）13 時 30 分～15 時 20 分
実施場所	ACU-A 1613 室〔札幌市中央区北 4 条西 5 丁目アスティ 45 16F〕
参加人数	28 人（事前申込者 16 人）
具体的な実施内容： —挨拶— 13：30～13：35 開会の挨拶 日本緩和医療学会 委託事業委員長 下山 理史 氏（愛知県がんセンター 緩和ケアセンター長） —講演— 13:35～14:25 『あなたを支える緩和ケア～治療も、仕事も、生活も～』 13:35～13:55 「治療・仕事について」 小林 孝一郎 氏（富山赤十字病院 呼吸器外科部長・緩和治療センター長） 13:55～14:15 「生活・子どもについて」 伊藤 由美子 氏（兵庫県立がんセンター 看護部 がん相談支援センター） 14:15～14:25 参加者との質疑応答 14:25～14:35 休憩 14:35～15:15 がん体験者とのトークセッション『わたしの体験～治療も、仕事も、生活も～』 肺がん、乳がん がん体験者ご登壇 聞き手：上村 恵一 氏（北海道医療センター 精神科医長） 聞き手：吉田 沙蘭 氏（東北大学大学院 教育学研究科准教授） —挨拶— 15:15～15:20 閉会の挨拶 日本緩和医療学会 緩和ケア普及啓発 WPG 副員長 池永 昌之 氏（淀川キリスト教病院 緩和医療内科部長）	

当日の様子



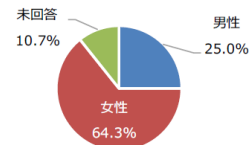
効果について（アンケートの結果など）

1.あなたのことについて教えてください。

n=28

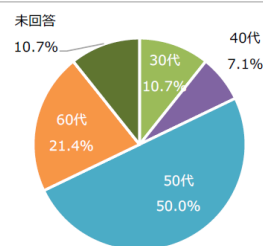
■ 性別

回答	数量	割合
男性	7	25.0%
女性	18	64.3%
未回答	3	10.7%
合計	28	100.0%



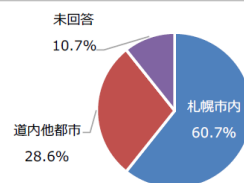
■ 年代

回答	数量	割合
～10代	0	0.0%
20代	0	0.0%
30代	3	10.7%
40代	2	7.1%
50代	14	50.0%
60代	6	21.4%
70代	0	0.0%
80代	0	0.0%
未回答	3	10.7%
合計	28	100.0%



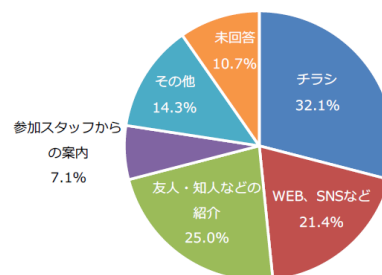
■ 居住地

回答	数量	割合
札幌市内	17	60.7%
道内他都市	8	28.6%
道外	0	0.0%
未回答	3	10.7%
合計	28	100.0%



● 本日のイベントはどのように知りましたか？【複数回答可】

回答	数量	割合
チラシ	9	32.1%
WEB、SNSなど	6	21.4%
友人・知人などの紹介	7	25.0%
参加スタッフからの案内	2	7.1%
その他	4	14.3%
未回答	3	10.7%
合計	31	110.7%

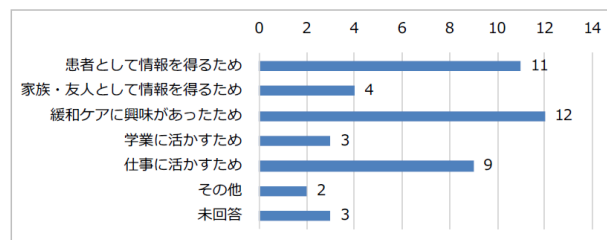


その他

- ・がんサロンで案内されて
- ・所属団体から
- ・道楽誌
- ・ホスピスケアの会
- ・他の市民講座にて

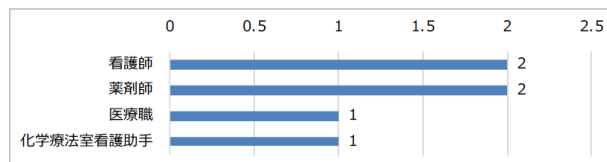
● イベントに参加された理由をお聞かせください（複数回答可）

回答	数量	割合
患者として情報を得るため	11	39.3%
家族・友人として情報を得るため	4	14.3%
緩和ケアに興味があったため	12	42.9%
学業に活かすため	3	10.7%
仕事に活かすため	9	32.1%
その他	2	7.1%
未回答	3	10.7%
合計	44	157.1%



★ 1. 仕事に活かすため[ご職業をお教えてください] 回答 6

回答	数量	割合
看護師	2	33.3%
薬剤師	2	33.3%
医療職	1	16.7%
化学療法室看護助手	1	16.7%
合計	6	100.0%



その他

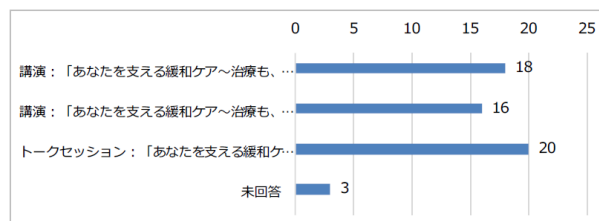
- ・活動する仲間たちや参加者さんの中で、緩和ケアを受けている方がいるかもしれないので、事前知識として。
- ・がん患者のため講演会や活動の構成を勉強し、患者会活動に活かしていきたいと思います。

2. 市民公開講座についてお教えてください

n=28

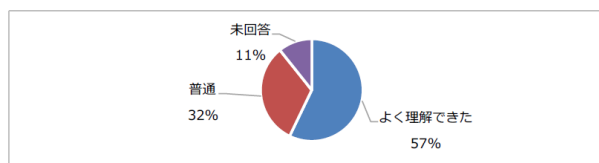
● どのテーマに興味を持たれましたか？（複数回答可）

回答	数量
講演：「あなたを支える緩和ケア～治療も、仕事も、生活も～」 「治療・仕事について」	18
講演：「あなたを支える緩和ケア～治療も、仕事も、生活も～」 「生活・子どもについて」	16
トークセッション：「あなたを支える緩和ケア～治療も、仕事も、生活も」	20
未回答	3
合計	57



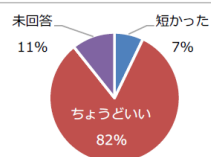
● 内容はいかがでしたか？

回答	数量	割合
よく理解できた	16	57.1%
普通	9	32.1%
あまり理解できなかった	0	0.0%
未回答	3	10.7%
合計	28	100.0%



●講演時間はいかがでしたか？

回答	数量	割合
短かった	2	7.1%
ちょうどいい	23	82.1%
長かった	0	0.0%
未回答	3	10.7%
合計	28	100.0%

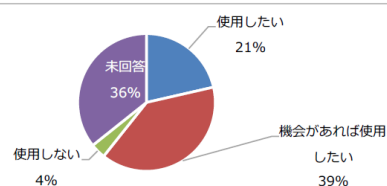


●医療従事者の皆様にお伺いいたします。

本日使用しました「緩和ケア普及啓発活動ツールセット」のスライド、及びリーフレット・動画について、公開講座等で使用したいと思われましたか？

(※本学会HP「緩和ケア.net」より、請求・ダウンロードいただけます)

回答	数量	割合
使用したい	6	21.4%
機会があれば使用したい	11	39.3%
使用しない	1	3.6%
未回答	10	35.7%
合計	28	100.0%

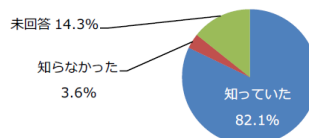


3.緩和ケアの認識について教えてください

n=28

●緩和ケアという言葉をご存知でしたか？

回答	数量	割合
知っていた	23	82.1%
知らなかった	1	3.6%
未回答	4	14.3%
合計	28	100.0%

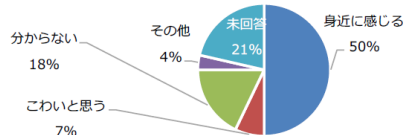


●緩和ケアと聞いてどのような印象を受けますか？

回答	数量	割合
身近に感じる	14	50.0%
こわいと思う	2	7.1%
分からない	5	17.9%
その他	1	3.6%
未回答	6	21.4%
合計	28	100.0%

その他

・必要だと感じる

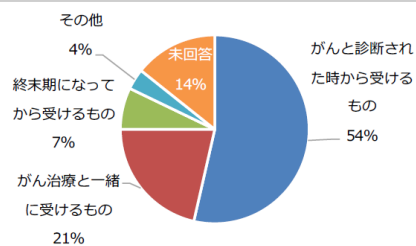


●緩和ケアと聞いていつから受けるものと思われましたか？

回答	数量	割合
がんと診断された時から受けるもの	15	53.6%
がん治療と一緒に受けるもの	6	21.4%
終末期になってから受けるもの	2	7.1%
分からない	0	0.0%
その他	1	3.6%
未回答	4	14.3%
合計	28	100.0%

その他

・がんかもしれないと思った時から

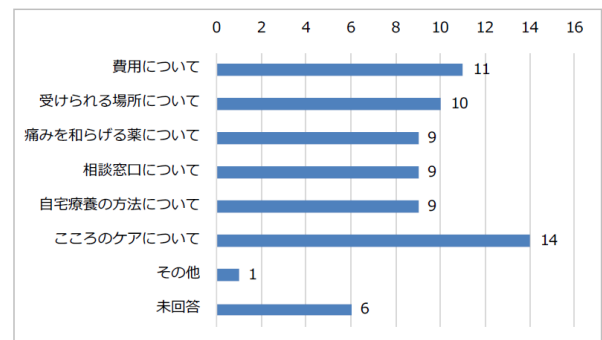


●緩和ケアについてどのような情報を知りたいですか？（複数回答可）

回答	数量	割合
費用について	11	39.3%
受けられる場所について	10	35.7%
痛みを和らげる薬について	9	32.1%
相談窓口について	9	32.1%
自宅療養の方法について	9	32.1%
こころのケアについて	14	50.0%
その他	1	3.6%
未回答	6	21.4%
合計	69	246.4%

その他

・対人関係、利用者・家族との対話の仕方など



●ご意見があればご記入ください

表面的な事業というのが正直な感想です。前半部分の質問が一般市民の実際の緩和ケアに対する疑問であり、それに明確に答えを示せないのは問題ではないでしょうか。

前半の所、もう少しつつこんだ内容を期待していましたが、わかっていることばかりでつまらなかったです。

下山氏が「緩和ケア」を医療者に対しても普及するためとお話されていたので、医療者が全員知っているものではないということを知り、驚きました。

地域によって、緩和ケアを受けられる差があることを感じました。

今後、高齢者も多くなり患者さんからアクセスすることは難しいのではと思いました。

診断された病院で緩和ケアにつながるシステムが必要と思いました。

医療者が患者さんを傷つけることも多いと知り、技術的なことも含め、（緩和の）心のケアも含め、身につけていただきたいと思います。

治療のため、仕事を辞めてしまう人も多いと感じています。

調整しながら続けていけるように支援をすること、まずは相談する場を知ってもらうことがこれからも大切だと感じました。

実際に頑張っている人たちのお話を伺って、改めて生活の大切さ、その人その人の背景を知って関わることの大切さを感じました。

コミュニケーション大切ですね。

またこのような講座があるときは、是非参加したいと思います。

参加することにより、患者さんの思い、気持ちを理解することができる機会になるので、勉強したいです。

80代男性の患者様の奥様の質疑応答にて、病院側や行政の仕組みにより病室が変わるなどの制度について、シビアな内容に蓋をせず、内容をもう少し明確にしてほしかった。

来場者からの質問（ご主人のお話）を聞いて、緩和ケアっていったい何なんだろうと思いました。

仕事をしながらの治療の理解を周囲から受けられるようにしてできる社会を作りたいと思いました。

トークセッションは大変参考になりました。上村先生、笑いをありがとうございました。たくさん笑いました。

主治医と担当看護師と緩和ケアチーム、患者にとってはすべて同じ医療者でしかありません。

ターミナルケア、ホスピス、緩和ケアをはっきり分けてあった方が良い気がします。

もっと緩和ケアを利用してる患者さんからお話を聞きたいと思いました。

治療に向かっている長い期間、ご苦労されている患者さんの生の辛い声を聞かせていただき、感謝です。共に学びあえたらよいと感じました。

市民公開講座

緩和ケアを受けながら

～ 治療も、仕事も、生活も ～

緩和ケアは、がん等になった時に患者さんとご家族が、
治療も仕事も生活も自分らしく両立することを支えるケアです。
あなた自身や大切な人のため、緩和ケアについて知ってください。

定員 100 名

申込は
裏面を
御覧ください

入場
無料

開催日時: 令和2年2月16日 (日)

13:30～15:20

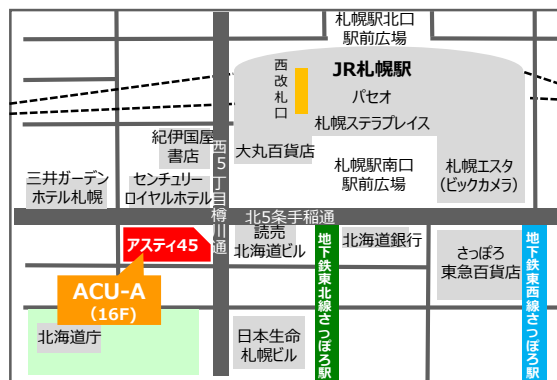
※受付は開始 30 分前から行います。

開催場所: ACU-A 1613室

札幌市中央区北4条西5丁目アスティ45 16F

※JR札幌駅より徒歩約5分、地下鉄さっぽろ駅より徒歩約3分

※公共交通機関でお越しください



<プログラム>

開会の挨拶 下山 理史氏 (緩和ケア医) 愛知県がんセンター 緩和ケアセンター長

講演『あなたを支える緩和ケア～治療も、仕事も、生活も～』

「治療・仕事について」 小林 孝一郎氏 (がん治療医・緩和ケア医) 富山赤十字病院 呼吸器外科部長・緩和治療センター長

「生活・子どもについて」 伊藤 由美子氏 (がん看護専門看護師) 兵庫県立がんセンター 看護部 がん相談支援センター

がん体験者とのトークセッション『わたしの体験～治療も、仕事も、生活も～』

肺がん、乳がん がん体験者ご登壇予定

聞き手: 上村 恵一氏 (精神科医) 北海道医療センター 精神科医長

聞き手: 吉田 沙蘭氏 (公認心理師・臨床心理士) 東北大学大学院 教育学研究科准教授

閉会の挨拶 池永 昌之氏 (緩和ケア医) 淀川キリスト教病院 緩和医療内科部長

※当日の様子は動画による撮影を行い、後日主催者のホームページ等で公開を行います。予めご了承ください。

主催

特定非営利活動法人 日本緩和医療学会

後援

北海道・札幌市・一般社団法人北海道医師会・一般社団法人札幌市医師会・一般社団法人北海道歯科医師会・一般社団法人
札幌歯科医師会・公益社団法人北海道看護協会・一般社団法人北海道薬剤師会・一般社団法人全国がん患者団体連合会

観覧ご希望の方は、可能な限り事前申込にご協力ください。
(当日参加も可能ですが、事前申込者多数の場合お断りする場合があります)

以下にお名前などの必要事項を記載し、以下のFAX番号までお申し込みください。

お申し込みFAX : 03-5925-2703

お申し込み締め切り
令和2年2月3日（月）

お名前	ふりがな				
お越しの 人数			車椅子を ご利用の方		
	ご本人含め	名		左記の人数の内	名
ご連絡先	昼間、ご連絡の取れる電話番号をお書きください。				
【ご質問・ご要望・ご不安に思うことなど、ご自由にお書きください】					

※頂いた個人情報は主催者が適切に管理し、本市民公開講座の申込受付並びにそれに伴う必要な連絡にのみ使用いたします。取り扱いに関するお問い合わせは下記の連絡先までお願いいたします。

本件に関するお問合せ： 緩和ケア普及啓発活動イベント事務局（03-5989-1853）
平日10:00～17:00